

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	宮代町					
提案事業名	西原自然の森 福祉・芸術交流交差点化事業					
事業期間	令和2年度～令和3年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 交流スペース利用者					
	(成果検証の具体的な方法) 利用者のカウント					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (R3年1月時点)	0	目標値 (R4年3月時点)	3,000	実績値 (4年3月時点)	3,556
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) 3,000 (実績) 3,556	稼働率 (%)	(目標) 50% (実績) 50%		
住民への公表状況 及び特記事項	町広報及びホームページにおいて施設の修繕の進捗等を公表、オープン後は施設利用案内やイベント実施案内等の周知を図りました。					

【事業効果の整理・原因分析】

令和2、3年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 社会福祉事業	○	旧ふれ愛センター建物を所有者（町）と利用者（社会福祉協議会）が共同でリノベーションすることで、新たな福祉施設を設けるとともに、その一部を交流スペースとすることで、障がい者と健常者の交流の場の創出が図られました。
② 西原自然の森福祉・交流拠点 オープンイベント事業	○	施設開館の令和3年5月は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言下にあったため、実施時期は令和3年度末となったものの、当町外交官片桐仁氏のアート作品を含めた展示会を開催。展示期間中は、町内外・県外から延べ1,451名の来場者があり、多くの世代の人が訪れる機会となりました。
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	新たな福祉施設を整備し、その一部を交流スペースとすることで、障がい者と健常者の交流の場との創出を図るとともに、当町外交官片桐仁氏のアート作品を含めた展示会を開催し、町内外・県外から多くの来場者による交流が図られた他、西原自然の森フェスタを開催や、交流スペースが日常的に利用される等、令和4年3月末時点での利用者は目標設定の交流人口を上回るとともに、多くの人が集い、関わり、多様な福祉・芸術活動の拠点として賑わいを創出しました。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	